

# 平成30年度 事業報告

『安心して暮らせる 地域ぐるみの まちづくり』

社会福祉法人玄海町社会福祉協議会

# 平成30年度社会福祉法人玄海町社会福祉協議会事業報告書

今年度も「安心して暮らせる 地域ぐるみの まちづくり」を基本理念として、高齢者、障がい児・者、児童・生徒、幼児に向けた多岐にわたる事業に取り組みました。

新規事業として、平成30年4月から町内全住民を対象としたコミュニティバスの運行を開始し、生活の脚としての移動手段の確保に努めました。また、これまで実施してきた介護保険サービスの充実に努め、あらゆる階層の困りごとや相談に応じる総合相談事業を行い、安全かつ確実を最優先に通学バス運行事業に努め、研修等を通じた職員の意識改革、啓蒙普及により、社協の組織体制及び経営基盤の強化を図りました。

これまで継続してきた様々な事業をさらに発展・充実させながら、人と人とのつながり、支え合いの仕組みづくりを進め、総合的な福祉サービス事業に取り組むことにより、地域住民の福祉の増進を図りました。

## 1. 理事会・定時評議員会・評議員選任解任委員会・監事会開催状況

### (1) 理事会開催状況 理事定数9名

#### 1) 第1回理事会 平成30年5月24日 (出席8名 欠席1名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成29年度事業報告について

議案第2号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成29年度一般会計歳入歳出決算について

議案第3号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会理事及び評議員の推薦について

#### 2) 第2回理事会 平成30年12月21日 (出席8名 欠席1名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について

議案第2号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成30年度一般会計歳入歳出補正予算(第1号)について

#### 3) 第3回理事会 平成31年 3月 6日 (出席7名 欠席2名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成30年度一般会計歳入歳出補正予算(第2号)について

議案第2号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成31年度事業計画について

議案第3号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成31年度一般会計歳入歳出予算について

支出額 51,000円

### (2) 定時評議員会開催状況 評議員定数14名

#### 1) 第1回評議員会 平成30年6月13日 (出席12名 欠席2名)

議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成29年度事業報告について

議案第2号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会平成29年度一般会計歳入歳出決算について

議案第3号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会理事の選任について

支出額 33,000円

(3) 評議員選任・解任委員会開催状況 評議員選任・解任委員定数3名

- 1) 第1回選任委員会 平成30年6月13日 (出席3名 欠席0名)  
議案第1号 社会福祉法人玄海町社会福祉協議会評議員の選任について

支出額 6,000円

(4) 監査

- 理事会による予算審議等のため役員会等へ出席
- 平成29年度社会福祉法人玄海町社会福祉協議会一般会計決算監査
- 理事会・定時評議員会決算審議のため役員会等へ出席

支出額 30,000円

2. 社会福祉協議会組織の強化

(1) 役員研修

玄海町社会福祉協議会の向上発展のため、「行政を頼らない自立した社会福祉協議会」を目指し、福祉の先進地へ視察研修を行って参りましたが、本年度については、佐賀県社会福祉協議会が開催する「社会福祉協議会役員(理事・監事・評議員)・職員合同研修会へ参加を行いました。研修の内容については、各市町社会福祉協議会における特徴的な取組状況や、地域の課題等の実践報告が行われ、本会におきましても取り組みの状況を報告いたしました。また、その他では九州社会福祉協議会連合会主催による九州ブロック地域福祉研究会議及び佐賀県、佐賀県社会福祉施設経営者協議会の共催による社会福祉法人等役員研修にも参加した。

支出額 233,980円

(2) 職員研修

職場内研修及び佐賀県、佐賀県社会福祉協議会、佐賀県老人福祉施設協議会、財団法人介護労働安定センター等の研修会に積極的に参加し、職員の意識改革を行うとともに、介護事業における介護サービスの向上に努めた。

- ① 職場内職員研修
- ② 管理者、係長、主任会議

3. 福祉の風土づくり

(1) 広報活動の充実強化

社会福祉協議会の事業並びに地域活動を広く町民の方に知ってもらい、社会福祉協議会の理解や地域福祉活動の活性化を図るため、年間4回発行し町内全世帯及び関係機関に配布した。インターネット通信での配信としてホームページを開設し幅広く情報提供に努めた。

支出額 522,720円

(2) ボランティア活動の推進、育成援助

将来を担う、児童・生徒・学生が地域の中で福祉教育やボランティア活動に取り組み、他人を思いやる心、相手の立場に立って考えたり共感出来る温かい心、社会連帯の精神を育成、また学校と福祉ボランティア活動とが連携し地域ぐるみで地域の特性に応じた様々な福祉ボランティア活動を推進した。

- ① 学校ボランティア育成事業指定校
  - ・ 玄海みらい学園
  - ・ 唐津青翔高等学校

支出額 172,000円

②福祉教育・ボランティア活動等支援事業

- 平成30年6月30日 手話教室（さくら児童館） 55名参加
- 平成30年8月 3日 福祉体験&工作(佐賀県在宅サポートセンター) 17名参加
- 平成31年3月 9日 高齢者疑似体験(仮屋コミュニティセンター体育館) 31名参加

福祉の観点から障がいを持たれた方や、高齢者の方々との触れあいの場を設け、支え合う社会を学んでもらうため福祉入門教室を実施した。また、遊びを取り入れた2児童館合同での手話教室や、補装具を装着した疑似体験を実施し子供達は興味深く真剣に取り組む姿が見られ、仲間と交流し意義ある教室が開催出来た。

支出額 77,024円

4. 社会福祉活動事業

(1) 共同募金事業

共同募金の趣旨を広く伝えるべく、広報誌等を活用した周知に努めました。町民体育祭会場での街頭募金活動は、あいにくの天候不順により実施できなかったものの、各世帯、区長会、民生委員・児童委員協議会、町内外事業所、町職員、玄海みらい学園・唐津青翔高等学校教職員及び児童生徒、福祉施設等の皆様方のご協力により目標の達成に努めました。

(2) 日赤募金事業

毎年5月を「赤十字運動月間」と定め、赤十字の理念や活動を理解・協力していただくため、赤十字運動イベント「防災セミナー」として、保育園児親子を対象にした「幼児安全法」を実施した。

- 日 時 平成30年11月7日 9時30分から
- 場 所 玄海町保育園 「あおば保育園」
- 参加数 きりん組親子 地域婦人会他 43名

募金の状況

募 金 種 別	種 別	目 標 額	実 績 額
日 赤 募 金	一 般 募 金		849,800円
	法 人・そ の 他		51,032円
	合 計	876,000円	900,832円
共 同 募 金	戸 別 募 金		853,800円
	法 人 募 金		500,700円
	街 頭 募 金		18,950円
	学 校 募 金		8,090円
	職 域 募 金 他		250,100円
	イ ベ ン ト 募 金		0円
	そ の 他		2,266円
	合 計	1,376,000円	1,633,906円
合 計		2,534,738円	

(3) 歳末助け合い募金配分状況 (在宅者配分)

一人暮らし高齢者 94人 しめ縄

支出額 85,221円

5. 低所得者階層の更生事業

(1) 生活福祉資金斡旋事業

支出額 113,000円

(2) 町福祉資金貸付事業

生活資金貸付金 1件

支出額 80,000円

6. 児童福祉活動事業

(1) 青少年育成事業

4クラブ、4チームのクラブ活動に援助協力を行い、児童の健全育成に努めた。

クラブ名	人数
ジュニアバレーボール	12人
剣道	17人
バドミントン	33人
野球	21人

支出額 104,000円

(2) 児童館事業

児童に健全な遊びを与えて、個別的及び集団的指導によって、その健康を増進し情操を豊かにするとともに、「遊ぶ場所」「留守家庭児童の見守る場所」から「育てる場所」としての活動も増え、より有益な体験を提供し、地域における児童の健全育成に努めました。

項目	さくら児童館	みどり児童館
○児童登録者数	102人 (68家庭)	87人 (60家庭)
○年間来館者数	9,694人	10,221人
○年間開館日数	287日	287日
○一日平均利用者	33.7人	35.6人

支出額 23,336,236円

(3) 子育て親子ふれあい広場

0歳児から就学前の子育て中の親子が気軽に集い交流して楽しむ場、子育ての不安や悩みを相談できる場として、地域にある児童館を提供し、子育て親子ふれあい広場を実施した。

期日 平成30年11月21日

場所 みどり児童館 集会室

参加者 親子3組6名

支出額 35,035円

(4) サンタクロース大作戦

地域福祉の一環として、本会職員がサンタクロースに扮してお子様のいるご家庭を訪問し、プレゼントをお届けする心温まる微笑ましいサプライズを目的に事業を実施した。

期 日 平成30年12月24日

場 所 希望者宅

希望者 5家庭

支出額 6,402円

7. 老人福祉活動の推進

(1) いきいきサロン事業『げんき会』

日々の生活の中で、デイサービスに通うほどでもないが、積極的に外出するほどの気力や体力が起きず、家に閉じこもりがちな高齢者等は、孤独や不安、寂しさを抱えながら過ごされている人も多い。この様な方々の社会的孤立感の解消及び自立生活の向上を目的に、歩いていける場所・気軽にふらっと立ち寄れる場所「地域の集いの場所」を利用し、その当事者と地域住民が共同で事業を実施した。

- 年間延実施回数 44回
- 年間延利用人員 493人
- 一回実施参加人員 11.2人

地区名	回数	人数	地区名	回数	人数
下 宮	2回	20人	有浦下	4回	42人
中 通	3回	39人	仮 屋	1回	56人
仮 立	4回	44人	座川内	10回	123人
普恩寺	4回	63人	田 代	10回	74人
栄	4回	19人	大 鳥	2回	13人

支出額 603,684円

(2) 一人暮らし老人給食事業

町内の一人暮らし老人等の心身の健康保持のため、独居老人及び老人世帯等に食生活改善推進協議会、民生児童・児童委員協議会、ボランティア会員、座川内婦人会の協力を得て、旬の食材を使った手作りの弁当を配食した。

七月実施の七夕会では、民生児童委員による心温まる手料理や、保育園児とのふれあい交流会を通して、楽しい一時を過ごしていただきました。その他、町内のボランティア会員の協力を得て、夏場の食中毒を避けトコロテンの配食及び秋の行楽シーズンにはバスドライブを実施しました。

- 年12回開催 会食会（七夕会）1回（86人）
- バスドライブ 1回（24人）
- 配 食 10回（451人）
- 延配食数 561食

支出額 382,719円

(3) 緊急情報キットの設置

在宅の高齢者や身体の不自由な人達に対する緊急時の迅速な対応として、かかりつけ病院や持病などの医療情報、服薬情報、緊急連絡先などの情報を専用の容器に入れ、家庭の冷蔵庫に保管することで、万が一の緊急時に備え、定期的な訪問の機会をつくり、情報の更新を行うことにより見守り活動の充実を図るとともに、見守られる側の安心の確保につとめた。

- 独居高齢者世帯 100世帯

○高齢者のみ世帯 87世帯(177人)

(4)在宅介護者の集い

在宅において寝たきりや認知症の高齢者を介護している家庭の方がお互いの悩みなどを話し合い、交流を持つことでより良い介護の継続がなされるように、また、日頃の介護疲れを癒やして心身をリフレッシュし、ほんのひとときでも「ほっと」してもらい、共に介護者同士の悩みや直面されている問題などの情報交換をしながら交流することを目的として事業を実施した。

期 日 平成31年 3月14日

場 所 嬉野市嬉野町 「ブーゲンハウス嬉野」

参加数 7名

支出額 21,559円

(5)在宅介護支援センター事業

在宅の要援護高齢者若しくは、要援護となるおそれのある高齢者、又はその家族等に対し、福祉ニーズに対応した各種の保健、福祉サービスが総合的に受けられるよう行政機関、サービス実施機関及び居宅介護支援事業所等との連絡調整を行い、在宅介護などに関する総合的な相談支援に努めた。

相談件数 1,833件

支出額 8,646,057円

(6)玄海町「食」の自立支援事業

町内に居住する在宅の一人暮らし高齢者等に、栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、地産地消の食材を使用した地元業者の参入も加え、高齢者の安らぎのある生活を支援するとともに、当該高齢者の安否の確認、孤独感の解消を図り、在宅での自立支援に努めた。

○登録者数 34人

(独居17人、高齢者のみ世帯7世帯、その他 10人)

○年間利用者数 3,884人

○年間配食日数 292日

○一日平均配食数 13.3食

支出額 4,927,498円

8. 介護事業等実施

(1)訪問介護(ホームヘルパー)事業

訪問介護員(ホームヘルパー)が家庭を訪問し、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来るよう、食事、入浴、排泄の介助炊事、掃除、洗濯など、ケアプランに基づいた日常生活の手助けを行い在宅福祉の向上に努めた。

(平成31年3月現在)

自立者	障害者	支援1・2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
5名	2名	7名	2名	3名	1名	2名	1名

収入額 11,896,919円

(2) 通所介護（デイサービス）事業

要援護状態や要介護状態となった場合においても、利用者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した、日常生活を営むことが出来るよう、食事、入浴、日常動作訓練、レクリエーション等の各種サービスを提供し、お年寄りの社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減に努めた。

○登録者数	79人
○利用者延べ	7,673人
○実施日数	307日
○一日平均利用者	24.9人
○平均介護度	1.6

収入額 55,287,252円

(3) 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じた適切なサービスを多様な事業者から総合的、かつ効率的に提供されるよう、利用者が可能な限り居宅において有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう介護支援専門員（ケアマネージャー）が利用者、家族と各介護保険事業所を繋ぐ役割を行った。

○利用実人数	81人	（介護 71人 予防 10人）
○延べ利用者数	967人	（介護 847人 予防 120人）

収入額 9,395,684円

(4) 認知症対応型通所介護事業

認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供し、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、通所介護の施設に通い、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上を提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などに努めた。

○登録者数	7人
○利用者延べ	626人
○実施日数	308日

収入額 10,755,478円

(5) 介護予防・生活支援サービス事業

認知症や介護が必要な状態にならず、住み慣れた地域でできるだけ自立した生活を続けられるよう、体と心の機能を維持・改善するための運動又はレクリエーション等を実施した。

○登録者数	78人
○利用者延べ	3,490人
○実施日数	147日
○一日平均利用者数	23.7人

支出額 11,849,500円



## 9. 総合相談事業

地域福祉活動計画に基づいた総合相談事業を実施した。総合相談事業では、玄海町住民を対象に複合的な相談事業を行い、電話だけでなく、家庭等を訪問するなどのさまざまな方法により応じ、各種福祉の提供に関わる援助、調整等を行った。

- 年間取扱件数 867件
- 年間実人員 60人

支出額 9,377,439円

## 10. コミュニティバス運行事業

日常生活に必要な交通手段を確保し、地域住民の公共交通の活性化を図ることを目的として、地域公共交通再編実施計画が策定され、本協議会がコミュニティバス運行事業者として採択をされた。また、本年度より運行計画に基づき本格運行を開始した。

- 登録者数(カード発行者) 189人
- 年間利用者数 5,817人
- 年間運行日数 288日
- 一日平均利用数 20.1人

支出額 8,859,000円

## 11. 公益事業

### (1) 児童生徒等送迎事業

玄海みらい学園の児童・生徒の移送を行う通学バス運転業務を町より受託し、安全かつ確実に最優先に事業を実施した。

#### 1) 通学バス運行

- 年間運行回数 1,108回
- 年間利用者数 66,260人
- 年間走行距離数 40,589km

#### 2) 臨時運行

- 年間運行回数 188回
- 年間利用者数 4,480人
- 年間走行距離 9,505km

支出額 35,470,440円

## 12. 収益事業

### (1) 葬祭用祭壇貸付状況

	1号	2号	計
貸出件数	1件	15件	16件
貸出料金	11,330円	139,050円	150,380円
超過料金	0円	21,630円	21,630円
合計	11,330円	160,680円	172,010円

### (2) 葬祭用品販売状況

販売件数 17件      収入額 4,707,072円

13. その他事業

(1) 自動販売機（清涼飲料等）事業

役場内	3台	総合グラウンド	1台	野球場駐車場	1台
町民会館	3台	あすぴあ	4台	福祉施設	1台
社会体育館	3台	浜野浦棚田	1台	玄海園	2台
				計	19台

売上額 1,453,257円